

オリムピック

1991

JANUARY Vol. 1



新年のご挨拶



理事長
堀田 輝雄

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

皆様の絶大なご協力により、当倶楽部が順調に発展しておりますことは誠に有難く、心から厚く御礼申しあげる次第であります。

さて、昨年夏は、気象観測史上始まって以来の早魃で、当コースでも7月上旬から9月中旬にかけて、全く雨の降らない日々が続きました。

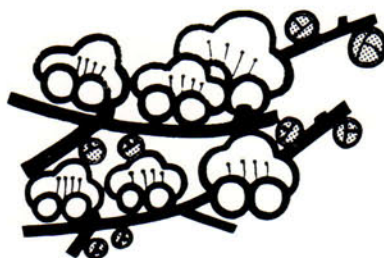
満々と水をたたえていた池の水も干上がり、フェアウェイの所々が赤黒くなって、一時はどうなることかと心配致しましたが、関係者の並々ならぬ努力により、何とか被害を防ぐことができたことは幸いでした。

また昨年は、樹齢百年以上に及ぶ、けやき、くす、かし等の大木を始め、何百本もの植樹が行われて、景観が一段と向上したばかりでなく、コースがより明確にセパレートされました。更に5Hのバンカー新設、9Hのティー増設、11Hの大改造等により面白味が増して参りました。

私は仕事柄、東京はじめ各地によく出張しますが、当倶楽部が大変素晴らしいといわれる機会が多くなりました。このように名声が広まりつつありますことは、ご同慶の至りであると存じます。エチケット、マナーの厳守と、会員の親睦を大目標とされる大川社長の熱意あふれる運営ともあいまって、近い将来、当倶楽部は、名実ともにわが国有数のゴルフ・コースになることと確信するものであります。

本年も会員の皆様のご期待に添えますよう、より一層尽力する所存でございますので、どうか倍旧のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様のご健康とご多幸を心から祈念し、ご挨拶と致します。





代表理事
大 川 清

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、ごきげんよく新しい年を迎えられたことをお慶び申し上げます。

当倶楽部もオープンいたしまして、早や1年8ヵ月になりました。この間、開場当初あちこちに見られましたコースの未整備箇所も徐々ではありますが補修でき、改造工事、植栽も計画通り進んで、当初の目標に向かって努力をつづけております。

また運営面におきましても、競技・ハンディキャップ・エチケットの委員会が発足、活発な委員会活動を通じて、ラウンド時間の短縮、ハンディキャップの適性化、マナーの向上など大幅な改善がみられました。さらに月例杯、研修会など各種競技の開催で会員間の親睦もより深まり、競技参加者も次第に増加してきております。会員同志が競技を通じて知り合い、お互いに声をかけ合い、楽しくプレーされている姿は、素晴らしいことで、その環が徐々に広がって、良いクラブライフがつくり上げられることは、誠に同慶の至りでございます。

わたくしは世界の名門コースといわれるゴルフ場を、いままでに数多く見て回りましたが、いずれの倶楽部とも会員は親睦と

協調を大切にし、節度ある行動を取りながら楽しくプレーされているのが強く印象に残っております。

数年前アメリカのゴルフ雑誌でゴルフをする人と、ゴルフをしない人との平均寿命を調べたところゴルフをする人は、ゴルフをしない人よりも十数年長生きをするとの記録を読んだことがあります。

これは、良いゴルフをする為には、心身共に健康であることが第一。健康になる為に常日頃からバランスの採れた食事をし、深酒や夜更かしをせず規則正しい生活を心掛けるようになり、それが健全な心身を作り上げることになるのではないのでしょうか。空気の良いゴルフ場で談笑しながら、友人と競いあうところに良いスコアが結びつくものだと思っております。会員各位におかれましては今年のご健康でお仕事もゴルフも飛躍的なご活躍をして戴きます様に、明るく楽しい健康作りの場になる倶楽部に育てる所存で、あります。

最後に新しき良き年を迎え、会員各位のご多幸を心より祈願し新年のご挨拶と致します。



競技委員長
藤 原 剛

新年明けましておめでとうございます。
本年も平和で良い年でありますようにお祈り申し上げます。

オリムピックゴルフ倶楽部も本年4月で開場満2年を迎え、コースも改造を積極的に行なわれ、格調高いコースが出来上がりました。これは長年高い理想を持ち続けてこられた大川社長の物心両面に渡る並々なる努力の賜物と感謝申し上げます。これからはクラブ会員の親睦を一層深め、名実共に一流ゴルフクラブとして、ソフト面の高揚を計り優秀なクラブに成長することを念願しております。

昨年、競技委員長のご指名を受け僭越ですが、競技委員の方々のご協力のもと、クラブ競技に関するすべてをお世話することになりました。厳粛、公平な委員会運営を約束し、会員多数のご参加をお願いし、またグリーン上では技術と集中力でスコアーに挑戦し、そしてハウス内では会員同士笑いの絶えない楽しい雰囲気を夢見ております。どうぞ今後とも宜しく願い申し上げます。

平成3年1月



ハンディキャップ委員長
岡 本 雄 太 郎

新年おめでとうございます。会員ご家族ご一同様には幸多き新春をお迎えなされたこととお喜び申し上げます。

年頭にあたり本年の目標として
「上を向いて歩こう、幸せは雲の上に」

ラウンドをしていて調子がおかしいなと思ってきたら、できるだけ上を向いて歩くといい。技術的なチェックよりも体を後に大きくそらすようにして、前傾姿勢を直すようにする。ここからいいスイングの基盤を立て直す。調子のいい人は上を向いて歩いている。だからどんどん調子が上って行く。ゴルフばかりでなく、家庭生活においても仕事の上においても、背筋を正し、それぞれの目標に向って常に空を見上げるように……。必ず良い結果が表れることでしょう。

会員の皆様方のハンディアップに役立つことを念じまして新年のご挨拶とさせていただきます。



エチケット委員長
海堀 常夫

新年あけましておめでとうございます。

当クラブも開場2年未満でありながら、ゴルフ界で高い評価をうけていることは、会員をはじめ理事・役員の方々の日頃のご協力の賜ものと、嬉しく耳にすると共に感謝いたしております。

最近、若い人や女性のゴルフ人気が高まりコースの風景も華やかなファッションに包まれ、単にスポーツをするだけでなく老若男女がクラブライフを楽しむようになってきたことは素晴らしいことだと思っています。しかし、それだけに、基本的なルールだけは是非守ってもらいたいと思います。それは、社会通念としての常識あるマナーと、すべての人が安全で楽しくプレーできるようにするということです。

ゴルフの伝統をうけつぎ、しかもマナーを心得た楽しいクラブライフの形成は、1日1日の積上と、一人一人の意識と行動によって築かれてゆくものだと思います。

“よきクラブは、よきメンバーシップによってつくられる”といわれます。

今年が皆様にとってよい年であると共に、ゴルフをエンジョイできる年になりますように。

1. 旗竿のさし上げとプレーの線の指示

質問：グリーンまで打ち上げのホールで、プレーヤーの球の位置からは旗竿を見ることができなかった。そこでプレーヤーは、キャディに、旗竿をホールの真上に差し上げさせたままストロークを行った。このような場合、プレーヤーは規則第8条第2項aに違反したことになるか。

回答：違反とはならない。プレーヤーは、ストローク中、ホールの位置を示すために旗竿を差し上げさせることができる（規則第8条第2項a例外及び第17条第1項参照）。ただし、キャディがホールから離れた位置で旗竿を差し上げる場合は、プレーの線の指示となるので、プレーヤーがストロークを行う前にプレーの線から離れなければならない。

2. 暫定球の暫定球

質問：ティ・ショットがアウト・バウンズの可能性があったので、プレーヤーは、相手（または同伴競技者）に暫定球をプレーする意思を告げ、暫定球をプレーした。ところがその暫定球もアウト・バウンズの方へ飛んで行ったので、プレーヤーはあわてて、何も告げずに2つ目の暫定球をプレーした。運良く初めの球がイン・バウンズで発見されたが、どのように処置すべきか。

回答：初めの球はイン・バウンズで発見されているが、最後にストロークした2つ目の暫定球がイン・プレーの球となり（規則第27条第2項a）、プレーヤーは5打目をプレーしたことになる。